

第1日目 10月31日(土) 10時00分～18時30分				
座長	セッション1	セッション2	セッション3	セッション4
	小川悦史(大阪経済大学)	高尾義明(東京都立大学)	高田朝子(法政大学)	田中聡(立教大学)
10:00～10:30	大平剛士(大阪商業大学)・藤本哲史(同志社大学) 仕事・介護の要求度-資源が抑うつ感とワーク・エンゲイジメントに与える影響	今城志保(株式会社リクルートマネジメントソリューションズ)・藤村直子(株式会社リクルートマネジメントソリューションズ) 職場の心理的安全性がサポート要請行動に及ぼす影響-ホワイトカラーのサポート要請行動を促進する要因	野間口隆郎(中央大学) ミドル・アップ・アンド・ダウンの現状とその考察	小方真(株式会社リクルートマネジメントソリューションズ) 管理職へのトランジションにつながる、メインプレイヤー時代の経験と職務・個人特性との関連性に関する研究
10:40～11:10	小林裕(東北学院大学) 企業のワーク・ライフ・バランス施策と女性従業員の定着・昇進の関係-3波交差遅れ効果モデルに基づく分析	石井遼介(慶應義塾大学)・前野隆司(慶應義塾大学) チームの心理的安全性の尺度開発-健康関連分野に於ける主観的評価尺度選択の国際指針(COSM N)に基づく尺度開発	小出琢磨(産業能率大学) 両利きの経営とは何か-組織能力研究の視点からの整理と展望	古屋 星斗(リクルートワークス研究所) 若手社会人の越境実施に対する、「日常に潜在した活動」の影響-ポジティブレコーディングを媒介として
11:20～11:50	岡部倫子(横浜国立大学) 感情と社会的交換理論	向日恒喜(中央大学) 知識提供行動を促進するのは自尊心か心理的安全性か-組織内自尊心-一般本業感-一般優越感、心理的安全性が知識提供行動に与える影響	中野在人(レピュラブルネス研究所) レピュラブルネスが拓く生産性高い働き方の可能性-「レピュラブルネス効果によるマネジメント」の可能性と展望	永田正樹(北海道大学大学院)・佐々木孝仁(三井物産人材開発株式会社)・亀山巖(三井物産人材開発株式会社)・松尾隆(北海道大学) 高業績社員のリフレクション・プロセス-内容分析に基づく研究
13:00～14:20	会員総会(理事会 12:00～12:50)			
14:20～15:20	学会賞受賞セッション 小林裕(東北学院大学) 司会: 竹内規彦(早稲田大学)			
座長	セッション5(院生セッション)	セッション6(院生セッション)	セッション7(院生セッション)	セッション8(院生セッション)
	篠原さやか(九州女子大学)	林洋一郎(慶應義塾大学)	小林裕(東北学院大学)	江夏幾多郎(神戸大学)
15:30～16:00	伊藤鞠(同志社大学大学院)・藤本哲史(同志社大学)・大平剛士(大阪商業大学) 女性研究者のプロフェッショナル・コンフィデンスに関する探索的研究	姚静雅(名古屋大学大学院) 日中両国の新入社員において組織社会化戦略が役割明確性に与える影響-知覚された上司と同僚のサポートに着目して	王嬌(同志社大学大学院) ソフトウェア技術者の転職意欲とその規定要因-日米比較分析	加藤薫(東京都立大学大学院) ライセンスにおけるブランド構築プロセスの研究-依存性の変化にみるライセンスとライセンスの組織間関係について
16:10～16:40	杉山佳子(東北大学大学院) 女性エグゼクティブのキャリアにライフイベントが及ぼす影響-結婚、出産・育児との関連性の質的分析	FENG Xi nye(立命館大学大学院) PM型リーダーシップが部下のワーク・ファミリー・バランスに与える影響	西田瑞葉(立命館大学大学院) 保育園における職員定着のための上司の行動-サーパントリーダーシップとカウンセリングの効果の検討	増永遥介(立命館大学大学院) AI(人工知能)は日本企業の人事業務を代替しうるか-人事業務従事者を対象とした業務代替期待調査から
17:00～18:30	EORネットワークセッション(若手研究者向け事前登録制)			

第2日目 11月1日(日) 10時00分～14時20分				
座長	セッション9	セッション10	セッション11	セッション12
	今城志保(株式会社リクルートマネジメントソリューションズ)	服部泰宏(神戸大学)	細見正樹(関西大学)	鄭 有希(早稲田大学)
10:00～10:30	久保田康司(株式会社マネジメント・ラーニング) 部下の学習レディネスに影響を与える上司支援の研究	堀上明(環太平洋大学) コア理念に着目した経営理念の指標化と課題	新井崇弘(東京都立大学大学院)・大友美佳(東京都立大学大学院)・中村嶺(東京都立大学大学院)・成瀬純子(東京都立大学大学院)・高尾義明(東京都立大学) コロナ禍におけるリモートワークの揺り戻しが就労者の組織行動に与える影響	WU JI UNYAN(Kansai University)・TOMOKI SEKI GUCHI(Kyoto University) A Dynamic Analysis of Activity-System Maps: Application of NK Model in Studying Organization Performance and Resilience
10:40～11:10	齊藤光弘(合同会社あまね舎)・濱田一人(三井物産人材開発株式会社)・亀山巖(三井物産人材開発株式会社) 国内大手企業において上長が部下に対して行うコーチング行動に関する部下の年代別効果についての研究-部下の年齢を考慮した上長のコーチング行動に関する分析	北村雅昭(大手前大学) わが国におけるキャリア・アダプタビリティ尺度の開発-大学生を対象とした探索的因子分析からの尺度構成	麗仁美(松山大学)・松下得章(関東学院大学)・森永雄太(武蔵大学) コロナ禍の在宅勤務者における支援の受容が仕事-家庭コンフリクトに与える影響およびその影響の調整要因	関口倫紀(京都大学)・呉俊彦(関西大学) 顧客サービスでの価値共創プロセス理解に向けたNKモデルの活用
11:20～11:50	坂本佑太郎(株式会社リクルートマネジメントソリューションズ)・仲間 大輔(東京大学) マネジャーの介在が従業員の能力発揮に及ぼす影響	三好きよみ(東京都立産業技術大学院大学) シニアが起業を視野にいれた学習行動へ至るプロセスの検討-シニア層向けスタートアップ講座参加者を対象として	砂口文兵(椋山女子大学) 従業員の情報共有意図に多様性が及ぼす影響-関係的デモグラフィーの視点による検討	
12:00～12:50	昼休み/編集委員会			
座長	セッション13	セッション14	セッション15	
	森永雄太(武蔵大学)	石山恒貴(法政大学)	田中堅一郎(日本大学)	
13:10～13:40	黒塚幸子(慶應義塾大学)・赤木真由(慶應義塾大学)・五百木誠(慶應義塾大学) ジョブ・クラフティングを実践するツールの提案とその評価-認知的境界変更への影響	匠英一(デジタルハリウッド大学) アイトラッカーを用いた視線分析による認知プロセスの分析-アイトラッキング技術を用いた視線の向きと思考・感情の関係性の検証	竹内康子(東京海上日動メディカルサービス株式会社)・朝比奈真季(東京海上日動メディカルサービス株式会社)・高橋千佳(東京海上日動メディカルサービス株式会社)・外島裕(日本大学) EAPから見た職場のパワー・ハラスメントに関する一考察	
13:50～14:20	外山裕太(東京都立大学大学院)・高尾義明(東京都立大学) 地方公務員の余暇活動が本業に与える影響-個人が有するソーシャル・キャピタルとジョブ・クラフティングの関係性	宮本文幸(桜美林大学) 商品デザインにおけるイメージ・モチベーションの研究-中国人消費者での実験	米岡秀真(山口大学) 組織の不祥事に関する研究	